

新製品開発におけるフロント・エンド・ローディング  
'AI の製品特化'  
— 2030 年の技術 —

(株)ジヨンケイルコンサルティング 落合 以臣  
A Front End Loading in New Product Development  
'Specializing AI for products'  
-Technology of 2030-  
Shigemi Ochiai, Jonquil Consulting Inc.

**Keywords: AI・人・介護・ロボット・オンラインショップ・プログラミング・売れる製品**

### 技術動向と問題提起

- 労働社会へのAIの適用は、専門的な機械修理工、作業療法士などのように、人を相手にする仕事についてもロボットに置き換えられるのではないかとわれています。この領域にもAIが適用可能できるとなれば、少子高齢化が進む中で介護、健康維持に関する市場へも成長が見込めることとなります。しかしながら、人を相手にする仕事にAIの市場が見込めるということは、その分野での競争が激化する可能性もでてくるでしょう。
- T社で、就職間近の学生にtwitterを通してアンケートを実施したところ、IT関連の仕事に将来性があると思う学生が全体の56%、金融が23%、不動産11%、飲食10%となり、IT関連の仕事に就きたいという学生が全体の過半数を超えているという結果でした。
- AI（人工知能）の社会進出により、ヒトの仕事が奪われていくことも話題にあがる昨今、非労働集約的な業界への人気が高いといえるでしょう。
- 将来、ロボットができるような仕事は、人間に任せる必要がなくなっていくことは予想できます。しかしながら、いくら技術が進んだといっても、全ての仕事をロボットに任せるのは難しいはずで

### 解決策の提案

- 現代のように、これほどインターネットが普及していながら、ITの顕在化している市場規模はまだまだ小さいといわれています。
- 今後5年以上は、拡大を続ける余地があり、中でもカテゴリーに特化した口コミサイトなどのメディア系や、オンラインショッピングなどのeコマース系は、様々な展開ができるでしょう。
- ロボットの製作、プログラミングの分野にもまだまだ需要があるので、その分野で関連事業を展開する企業は、大いに成長が見込められると思います。
- ITの拡大によって、製品へのAIの導入も益々盛んになり、特に、AIを直接製品に取り入れながら、オンライン販売を同時に満たすことができれば、売れる製品になると思われます。
- 近未来的にいえば、冷蔵庫・ランドリーともに、使う側との会話ができる仕組みです。それも単なる儀礼的な挨拶ではなく、その人の状況、雰囲気を理解した会話システムとでもいいでしょうか。
- 今後は、製品開発現場で起きる将来を見据えたハプニングを期待したいと思います。  
この JQ International Review が、愛読される方の背中をさらに押すことができれば幸いです。